

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス You II

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2025年

3月

1日

| | | | | | | | | | |
|-----------|-----------------|---|----|----|-----|---------|----|--|----|
| 法人（事業所）理念 | | <基本理念> ・どのような疾病や障害があろうとも、人は自己肯定感をもって安寧に人生を歩む存在であることを尊重し、一人ひとりのリカバリーを支援する。 | | | | | | | |
| 支援方針 | | ・お子様を中心に、保護者様と連携しながら、コミュニケーションや社会性の獲得に取り組みます。 ・科学的根拠に基づいた支援を重視し、Early Start Denver Model（ESDM）などを活用した療育プログラムを構築・実践します。 | | | | | | | |
| 営業時間 | | 10時 | 0分 | から | 18時 | 0分 | まで | 送迎実施の有無 | なし |
| 支 援 内 容 | | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・お子様の身辺自立を目指し、段階的に課題を組み込むことで、衣類の着脱や物の整理などを習得できるよう支援します。 ・施設内での習得内容がご家庭や保育所等でも実践できるよう、お子様の発達や特性に応じた支援します。 | | | | | | | |
| | 運動・感覚 | ・ボールを使った粗大運動やプットインなどの微細運動に取り組めるように支援します。 ・お子様が姿勢保持し、着席行動もできるよう、個々に合った机やイス、パーティションを整え、集中しやすい環境を提供します。 ・感覚の偏りに配慮し、玩具や教材、おやつ触感や味にバリエーションを持たせ、無理なく活動できるよう支援します。 | | | | | | | |
| | 認知・行動 | ・玩具やマッチング課題やパズル等の教材を通して、認知能力の向上を図ります。 ・お子様が楽しんで取り組める、興味や発達に合わせた課題に取り組みます。 ・不適切な行動が見られた際には、安全に配慮した上で過度に注目せず、適切な行動が身につくように工夫します。 | | | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | ・言語、非言語のコミュニケーションの基礎となるスキルの段階的な習得を目指します。 ・環境設定を行い、他者に要求を伝える、また他者と物や活動を共有し、関わることの楽しさを学べるよう支援します。 ・情動調整をできるように支援します。 | | | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | ・くすぐり遊びや手遊び等の活動を行い、他者と関わることの楽しさを伝えます。 ・お子様の選択した活動の中でも順番交代等を伝える機会を設け、生活内でも実践できるよう支援します。 ・他者に注目する、模倣することやお子様からの発信を増やすことで、社会性を身につける基礎を育みます。 | | | | | | | |
| 家族支援 | | ・必要に応じてお子様の療育に同席していただき、支援を実際に見学する機会を設けます。 ・お子様だけでなくご家族が抱える困りごとを日常的に聴き取り、「育ち」や「暮らし」が安定できるよう対応策等を一緒に考え相談します。 | | | | 移行支援 | | ・地域の幼稚園や保育所および他事業所、児童発達支援センターへの移行を行うことがあります。 | |
| 地域支援・地域連携 | | ・お子様の地域社会への参加・包容（インクルージョン）を進めるため、専門的な知識・技術に基づく支援、保育所等訪問支援などを行います。また、お子様のライフステージに沿って、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育関係機関等と連携を図ります。 | | | | 職員の質の向上 | | ・法人内の研修会、児童発達支援センター研修会、発達に関するWebセミナーへの参加など、様々な専門的な研修会への参加を行い、支援の質向上を目指します。 | |
| 主な行事等 | | ・保護者様とお子様と季節を感じられるよう、取り組み内容（手遊び歌や制作課題など）に季節を表現する物を組み込んでいます。 | | | | | | | |

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス You II

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2025年

3月

1日

| | | | | | | |
|-----------|--|--|-----|---------|---|----|
| 法人（事業所）理念 | <p><基本理念></p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの様な疾病や障害があろうとも、人は自己肯定感をもって安寧に人生を歩む存在であることを尊重し、一人ひとりのリハビリを支援する。 | | | | | |
| 支援方針 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境を整え、お客様の安心・安全を確保するとともに、各々の目標や課題に応じた支援を行います。 ・お客様が適応的な行動を学び、日常生活への実践を促進します。 | | | | | |
| 営業時間 | 10時 | 0分 | 18時 | 0分 | 送迎実施の有無 | あり |
| 支 援 内 容 | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | <ul style="list-style-type: none"> ・お客様の健康状態や心身の状態に合わせて、負担なく活動に参加できるように詳細な状況把握に努めます。 ・口頭でのやり取りに加えて、文字やイラストなど多様な方法を活用し、お客様自身の気持ちや考えを表現できるようサポートし、周囲の大人から「理解してもらえた」と感じられるようお客様に寄り添い、できたところやよいところを誉めています。 | | | | |
| | 運動・感覚 | <ul style="list-style-type: none"> ・定期的なレクリエーション活動の中で協調運動、協応動作などを取り入れ支援します。 ・運筆の他、手指を使った活動を行い微細運動にも取り組み支援します。 ・感覚統合の視点を取り入れることで、姿勢保持やバランス感覚が養われるよう支援します。 | | | | |
| | 認知・行動 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習の時間を設け、学校での課題の他にも、必要に応じた認知面の発達を促し支援します。（ご家庭のニーズに合わせて、宿題や家庭学習のフォローや学年を遡った個別の学習課題を作成・実施します。） ・具体的な行動の目標を設定し、適切な行動が定着するよう「褒める」支援を行いスモールステップで習得を目指します。 | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | <ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルスキルトレーニング（SST）を実施することで、他者とのコミュニケーションや社会的スキルについて学びを深めるよう支援します。（グループでは「心と体のつながり」や「友人関係の構築と維持のスキル」、「ストレス対処」および「苦手や不安との向き合い方」等のテーマを通年で取り組みます。） | | | | |
| | 人間関係 社会性 | <ul style="list-style-type: none"> ・関わり活動ではレクリエーションやアナログゲーム等を行い、「遊び」を通して他のメンバーとの関わり方を考える機会にし目的を持って活動に参加できるように支援します。 ・環境設定にも配慮し、活動そのものを楽しめるようスタッフがサポートし、お客様自身が情動調整ができるように支援します。 | | | | |
| 家族支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・日々の活動の様子を伝えることに加えて、定期的にお便りにてお知らせします。 ・お客様含め、ご家族が抱える困りごとを電話や対面で聴き取り、「育ち」や「暮らし」が安定できるように対応策等を一緒に考え相談します。 | | | 移行支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・お客様の地域社会への参加・包容（インクルージョン）の考え方にに基づき、学校や他事業所等と情報共有を行う他、学年に合わせた社会的スキルを学べるよう、年齢の近いお客様を同じグループに設定できるよう構成します。 | |
| 地域支援・地域連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・お客様の地域社会への参加・包容（インクルージョン）を進めるため、専門的な知識・技術に基づく支援、保育所等訪問支援などを通じて学校訪問などを実施することがあります。また、お客様のライフステージに沿って、地域の保健、医療、障害福祉、学校、教育関係機関等と連携を図ります。 | | | 職員の質の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・法人内の研修会、児童発達支援センター研修会、発達に関するWebセミナーへの参加など、様々な専門的な研修会への参加を行い、支援の質向上を目指します。 | |
| 主な行事等 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の中旬～下旬に特別活動として、季節を感じられる行事やレクリエーション活動を実施し伝統行事の理解やならわしを深める機会に繋がります。 ・運動や制作、調理およびゲーム大会などに取り組み、その都度目標や目的を設定します。 | | | | | |